

歯科材料 6 歯科用印象材
一般医療機器 歯科咬合採得用材料 JMDN コード：70883000

ルクサバイト

チップは再使用禁止 *

【禁忌・禁止】

- ・本品の使用により感作又はアレルギー反応が起きる可能性があるため、本品又は本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・チップは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状：ベース材及び促進材が別々に充填されている 2 筒式円筒形のプラスチック製カートリッジ入り。

2. 成分又は原材料：

構成成分	性状・形状	成分・原材料
ルクサバイト	ベース材： 青色ゲル状	二酸化ケイ素、UDMA、EBPADMA、色素 他
	促進材： 帯黄白色ペースト状	二酸化ケイ素、ポリエステル、他
オートミックスチップ	チップ本体；ポリプロピレン ミキシング部；ポリオキシメチレン	

3. 原理：別々に充填された促進材とベース材を混和及び練和することにより化学重合反応が開始され硬化する。

【使用目的又は効果】

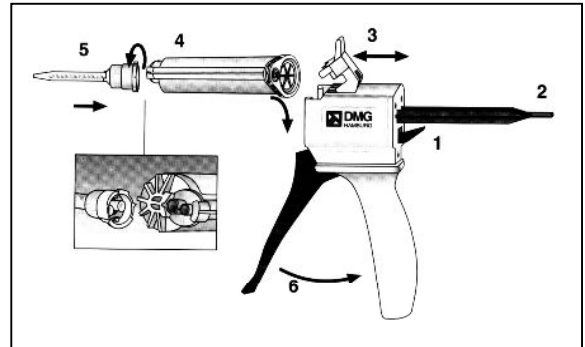
クラウン、ブリッジ、義歯等を作製するために、上下歯列の咬み合わせや、上下顎の位置関係を記録するために使用する。

【使用方法等】

1. 使用方法

(1) カートリッジの取り付け／取り外し

- ① ディスペンサーの後部にあるレバー(1)を押し上げ、プランジャー(2)を止まるまで完全に後方に引く。
- ② ディスペンサーの上部にある固定用のレバー(3)を上げ、カートリッジをディスペンサーに装着し、レバーを下げてカートリッジを固定する。
- ③ カートリッジのキャップを 90 度回転させて外し(4)、オートミックスチップ(5)をカートリッジの溝に合わせて差し込み、固定される位置まで(90 度)回転させて装着する。
- ④ トリガー(6)を引くことにより本品はオートミックスチップで練和され、直接充填することができる。



- ⑤ ディスペンサーの後部にあるレバー(1)を押し上げ、プランジャー(2)を止まるまで完全に後方に引く。固定用のレバー(3)を上げ、カートリッジを取り外す。

(注意) カートリッジを最初に使用するときには練和状態が不十分な場合があるので、最初に注出される練和物(豆粒大程度の量)は使用せず廃棄すること。

(注意) 使用済みのオートミックスチップはキャップ代わりとして、次の使用時までカートリッジに装着した状態で保管しておくこと。

(2) 通常の咬合採得

- ① ビスアクリル又はレジン基材とする修復物にはワセリン又はこれと同様の分離剤を塗布しておく。ブリッジボンテックはワックス等の適切な材料を用いて保護しておく。
- ② 適用前に歯面を乾燥させ、最初に咬合採得する部分に(最大3~4歯分)、次に反対側の歯列に本品を注出する。
- ③ 咬合採得位置で咬合させる。
- ④ 咬合面を確実に採得するために、上顎の頬側尖頭部が当たる部位に本品を追加塗布し、咬合させる。
- ⑤ 硬化後の本品を取り出し易くするため、45~60秒後にわずかに開口させて本品が口腔内で固着されていないことを確認し、再度咬合させる。
- ⑥ さらに90秒保持し最終硬化させた後、本品を取り外す。
- ⑦ 適切なインスツルメントを使用して、咬合面のみを残すように側面部分のトリミングを行う。
- ⑧ 模型を作成する。

(3) アンテリアジグを用いた中心位咬合採得

- ① 適切な材料(コンポジット又はシリコーン材料等)で作製したアンテリアジグを下顎前歯に装着して咬合を固定する。本品を適用するためのスペースを残し、臼歯が接触しない位置まで口を閉じさせる。
- ② 以後の手順は、(2)通常の咬合採得に記載の②~⑧のとおり。

2. 使用方法に関する使用上の注意

- ①全歯列弓の採得を行う場合は一度に行わず、3～4歯毎に分けて作製すること。
- ②硬化阻害を避けるために、咬合採得前に歯面を乾燥させること。
- ③本品を無歯顎部位に直接使用しないこと。
- ④オートミックスチップは次の使用時までカートリッジに装着した状態で保管し、使用する直前に新しいものと付け換えること。
- ⑤本品硬化物の消毒には、一般的な消毒剤の使用が可能である。未重合層も取り去ることから、アルコール系製品を推奨する。

【使用上の注意】

1. 使用注意

開封後はできるだけ速やかに使用すること。

2. 重要な基本的注意

- ①本品の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けさせること。
- ②本品又は本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、手袋などをして直接本品に触れないようにすること。また、本品の使用により過敏症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けること。
- ③本品又は練和物が口腔粘膜や皮膚に付着しないように注意すること。万一付着した場合には、直ちにアルコール綿等で拭いた後、多量の流水で洗浄すること。
- ④本品又は練和物が目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

(保管方法)

- ・本品は、25℃以下の常温で乾燥した暗所に保管すること。
- ・本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

(有効期間) *

容器に記載されている使用期限までに使用すること。
(使用期限は自己認証〔当社データ〕による。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：  株式会社 **DMG**
住 所：〒110-8507
東京都台東区上野 7-6-9

お問い合わせ先
器材部
電 話 番 号：03-3845-2931
F A X 番号：03-3841-8204

製 造 元：デーエムゲー社
DMG Chemisch-Pharmazeutische
Fabrik GmbH (国名：ドイツ)